

平成 25 年度事業報告

I. 概況

平成25年は、前年12月26日に発足した第2次安倍内閣において、安倍首相が“アベノミクス”を断行し、デフレ脱却による日本経済の再生が着実なものとなってきた。

景気回復の兆しがみられるなか、中央競馬は、第80回日本ダービーを一番人気で制したキズナ、最強スプリンターの名を轟かせたロードカナロア、G I を3勝した牝馬の女王メイショウマンボ、さらには有馬記念で有終の美を飾ったオルフェーヴルなどの活躍で盛り上がり、平成25年度の売上げは対前年比100.4%、2年連続の増加となった。

育成業界の動向を示すものとして、平成25年度の2歳トレーニングセール(JRAブリーズアップセールを除く)を総括すると上場頭数が大幅に増加し、売上頭数(109頭:昨年比108%)及び売上総額(14.4億円:昨年比109%)ともに増加した。調教レベルが向上したことにより騎乗供覧で良好な動きを見せる馬が増えており、即戦力を購入できることから2歳トレーニングセールへの注目度が高まっているとみられ、今後とも2歳セールの重要性は一層増していくと考えられた。

当協会は平成25年1月4日より「公益社団法人競走馬育成協会」として新たな一步を踏み出した。協会の事業そのものは従来の内容をほぼ踏襲し、競走馬の育成調教技術の向上に係る各種事業を推進するものであるが、今後はそれに加えて、若者に対する就労支援や育成調教技術者の養成を通じて地域社会の発展に寄与することを目的とした事業を計画実施することとなった。

平成 25 年度に実施した主な事業の概要は以下のとおりである。

育成技術講習会は昨年同様に北海道、東北、関東、関西及び九州地区で実施した。いずれも多数の参加者があり、「世界の馬づくり」や「サラブレッドの栄養学」などの講演内容が好評を博した。

育成技術表彰事業では表彰対象 495 競走のうち 232 競走で会員の育成馬が優勝し、育成者が表彰された。重賞 2 歳ステークス競走(札幌・函館・新潟・小倉・デイリー杯・京王杯)の施行場における育成者表彰は、会員の育成馬が勝利した 3 競走で行われた。

牧場就業者参入促進事業は、第 1 期(平成 22~24 年度)において、それまであまり知られていなかった「馬に係る仕事」や「牧場の仕事」に就くための方途を紹介し、馬産業界に若い人材を呼び込むことに着実な成果をあげてきた。今年度から第 2 期(平成 25~29 年度)に移行し、当協会は引き続き人材の発掘と後継者の養成に係わる事業を積極的に推進していくことになった。

生産育成技術者海外派遣研修事業は軽種馬生産育成に関する高度な知識・技術の修得を目的として実施している。昨年までのアイルランド競馬学校における技術研修並びに米国における競馬事情視察研修に加え、今年度は欧州の競馬事情視察研修も実施した。

その他、修学奨励金交付事業、利子補給事業、競馬関連機材有効活用事業、情報誌発行等を当初の計画どおり実施した。

II. 事業の実施状況

1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

1) 育成技術講習会の開催

競走馬の育成・調教に関する経営・飼養・衛生・環境管理及び海外における馴致・トレーニング法等の知識や手法について普及啓発を図り、丈夫で強い馬づくりに資するため、育成技術講習会を実施した。平成25年度においても従来どおり、日本中央競馬会(以下「JRA」という。)、公益財団法人軽種馬育成調教センター(以下「BTC」という。)との連携、共催により以下のとおり開催し、多数の会員・関係者の受講参加を得た。また、年々高まる講習会への期待に応じて、北海道地区での育成技術講習会を昨年が続いて実施した。

支部	開催月日	開催県	講演名	講師
東北	8月1日	青森	アイルランドにおける繁殖雌馬と若馬の管理	JRA 日高育成牧場 富成雅尚氏
九州	9月11日	鹿児島	アイルランドにおける繁殖雌馬と若馬の管理	JRA 日高育成牧場 富成雅尚氏
関東	10月30日	茨城	海外で競馬を学ぶ-海外経験者が「世界の馬づくり」を語る- 第1部(プレゼンテーション)	JRA 日高育成牧場 富成雅尚氏
			第2部(パネルディスカッション)	富成雅尚氏 JRA技術調教師 中内田充正氏 (株)ビットコントロール 田中啓太氏 元バリードイル・レーシング 本木剛介氏 JRA馬事部 (進行) 富田篤志氏
関西	11月6日	滋賀	海外で競馬を学ぶ-海外経験者が「世界の馬づくり」を語る- 第1部(プレゼンテーション)	JRA 日高育成牧場 富成雅尚氏
			第2部(パネルディスカッション)	富成雅尚氏 JRA技術調教師 中内田充正氏 (株)UPHILL 大舘敦志氏 元バリードイル・レーシング 本木剛介氏 JRA馬事部

				(進行) 富田篤志氏
北海道	11月27日	北海道	今さら聞けないサラブレッドの栄養学	JRA 競走馬総合研究所 松井朗氏
			日高育成牧場における飼養管理法	JRA 日高育成牧場 村瀬晴崇氏

育成技術講習会の受講者数の推移

平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
198 人	234 人	449 人	748 人	490 人

注) 講習会は平成 23 年までは 4 地区(東北、関東、関西、九州)で開催されていた。平成 24 年から北海道を加え、5 地区で開催された。人数は各地区の受講者合計である。

2) 育成技術表彰事業の実施

会員の育成技術の向上を図り、丈夫で強い馬づくりを目指した競走馬育成の健全な発展に資するため、JRAからの助成金の交付を受け、引き続き育成技術表彰事業を実施した。一昨年よりも3歳以上の重賞・オープン特別競走での該当馬数が伸びたが、2歳馬(新馬・重賞競走)の該当馬数が落ち込み(3歳新馬競走は一昨年とほぼ同じ状況であった)、昨年を下回る表彰件数となった。(表彰対象者末尾の表を参照)

また、競馬施行場における育成者表彰は重賞2歳ステークス競走6競走(札幌・函館・新潟・小倉・デイリー杯・京王杯)を対象として行われ、当協会会員2名(3競走)が表彰を受けた。

平成25年度 の 実 績	対象競走数	表彰件数	該当率 (%)	平成24年度 表彰件数	平成24年度 該当率(%)
新馬競走	285	191	67.0	214	73.5
2歳重賞競走	16	6	37.5	9	56.3
障害重賞競走	10	0	0.0	0	0.0
他の重賞競走	112	18	16.1	15	13.4
3歳以上 オープン競走	72	17	23.6	12	16.2
計	495	232	46.9	250	49.7

2. 軽種馬の育成調教に係る人材の確保・養成に関する支援

軽種馬経営の安定につながる将来の基幹的技術者の確保及び高度な知識技術の修得の支援のため、生産育成牧場就業者参入促進事業及び担い手育成事業(修学奨励金交付、生産育成技術者海外派遣研修)を行った。

1) 生産育成牧場就業者参入促進事業

牧場就業促進ウェブサイト(BOKUJOB)、競走馬の牧場で働こうBOKUJOBフェア2013、牧場で働こう見学会・夏休み牧場で働こう体験会を主要な柱とし、当協会を主体とする競馬関係 5 団体(JRA、公益社団法人日本軽種馬協会(以下「JBBA」という。)、BTC、社団法人日本競走馬協会、当協会)で構成する牧場就業促進事務局が運営した。

(1) 「牧場就業促進ウェブサイト (BOKUJOB)」について

就職先としての生産育成牧場の認知、牧場での仕事に関する情報の提供を目的に平成 22 年度に開局したウェブサイトは、一層認知度が向上し、アクセス数が飛躍的に向上した。

年度	延べアクセス数	延べ利用者数
平成 22 年度	210,008	50,252
平成 23 年度	302,502	64,524
平成 24 年度	485,681	98,160
平成 25 年度	623,048	123,342

※平成 22 年 6 月にサイトオープン

(2) 「競走馬の牧場で働こうBOKUJOBフェア2013」について

競走馬生産育成牧場等の業務を紹介し、牧場関係者と直接対話できる場としてのフェアは、7月27・28日(土・日)に東京競馬場で開催され、17牧場が説明ブースを設け、407人の参加を得た。

講演等: JBBA・BTC 研修案内 他

研修相談コーナー: JBBA、BTC、公益社団法人日本装削蹄協会、
北海道静内農業高等学校、全国軽種馬青年部連絡協議会

その他: 交流スペース、木馬による模擬体験、競馬博物館見学

(3) 「競走馬の牧場で働こうBOKUJOBプレフェア2013」について

関西地区での「BOKUJOB」の周知(認知度の向上)、JRA施設での競馬開催日におけるイベント実施についての検証も兼ねて開催した。

(JRA阪神競馬場)

日時: 6月15・16日(土・日) 10時から15時30分まで

場所: アメニティーホール

来場者: 見学者 216名、受付票提出者 66名(説明ブース等訪問者)

説明ブース： 4 牧場

研修相談コーナー： JBBA、BTC、日本軽種馬青年部連絡協議会

(JRA中京競馬場)

日時： 6 月 29・30 日(土・日) 10 時から 15 時 30 分まで

場所：ペガサススタンド3階テラス

来場者： 見学者 960 名、受付票提出者 52 名(説明ブース等訪問者)

説明ブース： 4牧場

研修相談コーナー： JBBA、BTC、日本軽種馬青年部連絡協議会

(4) 「牧場で働こう見学会」・「夏休み牧場で働こう体験会」について

① 牧場で働こう見学会(関東地区 3 月 24 日、関西地区 3 月 31 日)

	会 場	中・高校生	保護者・大学生・ 教諭	計	申込者
関 東	シンボリ牧場・ビッグレ ットファーム銚田 TC	13 名	9 名	22 名	38 名
関 西	宇治田原優駿牧場・ 信楽牧場ほか	11 名	12 名	23 名	30 名

② 夏休み牧場で働こう体験会(8 月 25 日～8 月 30 日)

下記のとおり、開催した。

参加者： 18 名(申込者 43 名)

場 所： 北海道日高地域(拠点：浦河優駿ホースビレッジ AERU)

研修先牧場： 杵臼牧場、辻牧場、様似堀牧場、まるとみ富岡牧場、
ビクトリーホースランチ、宮内牧場

協 力： JRA 日高育成牧場、BTC、JBBA 静内種馬場、
社台スタリオン、AERU、BTC 卒業生

2) 担い手育成事業

(1) 修学奨励金交付事業

BTCが行う育成調教技術者養成講習の平成 25 年 4 月入講生 3 名に対して、また、JBBA
が行う軽種馬生産成技術者講習の平成 25 年 3 月入講生 1 名に対して、修学奨励金を交付
した。

(2) 生産育成技術者海外派遣研修事業

軽種馬育成に関する高度な知識・技術の習得を目的として、生産育成技術者海外派遣研
修事業を本年度も実施した。平成 25 年度は、BTCから推薦された 3 名をアイルランドの競馬
学校である RACE(Racing Academy & Centre of Education)に派遣した。

また、3 ヶ月未満の短期研修については、5 泊 6 日の行程で欧州(競馬場、育成施設、セリ

市場など)に 9 名を、6 泊 8 日の行程で米国(競馬場、育成牧場、セリ市場など)に11名を派遣した。

3. 2歳育成馬トレーニングセールへの推進

会員の育成成果を公開する場でもあるトレーニングセールにおいて、より市場取引の活性化を図られるよう支援に努めた。競走馬育成協会関東支部が千葉サラブレッドセール(2歳トレーニングセール)を後援した。

4. 育成調教施設等の整備に対する助成事業

(1) 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設等の整備のために会員が借受けた軽種馬生産育成強化資金の利子負担の軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から助成を受けて、引き続き利子補給事業を実施した。平成 25 年度は、繰り上げ返済を実施した 1 件を除く継続 3 件について利子補給を実施した。

(2) 畜産環境整備リース事業

家畜排せつ物を適正に管理をするための施設・機材を、財団法人畜産環境整備機構から借受けた 2 件(堆肥舎ほか)について、引き続き会員に再貸付を行った。

(3) 競馬関連機材等有効活用事業

JRA等で使用を取りやめた競馬関連の機器及び資材について、再利用を希望する会員に対して斡旋を行った。平成 25 年度はフォークリフト(2 台)、トラクター(1 台)、ウニモグ(2 台)及び爪ハロー(3 台)の斡旋を行った。

(4) 畜産リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会が行う畜産リース事業について会員の申請事務を代行するものであるが、平成 25 年度については会員からの申込みはなかった。

(5) 馬産地再活性化緊急対策事業(平成 21~26 年度)

平成 25 年度は数件の問合せがあったが、実施案件はなかった。

5. 育成情報誌発行事業の実施について

軽種馬に係わる育成技術等の情報を提供するため、引き続き機関誌「いくせい」51 号を発行した。

6. 協会組織の拡充について

(1) 会員数について

新規会員の入会勧誘に努めたところ、正会員として 3 名が加入した。一方、育成牧場

の厳しい経営環境、経営者の高齢化等により4名が脱退した。その結果、平成25年度末における正会員は178名となっている。また、賛助会員の増減はなかった。

Ⅲ 総務全般に関する状況

1. 会員の状況

正会員の地区別分布状況並びに正会員及び賛助会員の増減

	北海道	東北	関東	関西	九州	計	賛助会員
平成24年12月31日	90	10	35	25	19	179	9
増	2	0	0	1	0	3	0
減	1	0	0	0	3	4	0
平成25年 12月31日	91	10	35	26	16	178	9

2. 役員に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤	備考
会長理事	武田 暁朗	非常勤	
副会長理事	和田 隆一	常勤	常務理事を兼任
副会長理事	荻野 豊	非常勤	
常務理事	二階堂 純信	常勤	平成25年2月20日退任
理事	飯田 正剛	非常勤	
理事	高橋 司	非常勤	
理事	諏訪 豊蔵	非常勤	
理事	沖崎 誠一郎	非常勤	
理事	中内田 克二	非常勤	
理事	柏木 務	非常勤	
理事	赤松 勇二	非常勤	平成25年2月20日退任
理事	信國 卓史	非常勤	平成25年2月20日就任
理事	織田 信美	非常勤	平成25年2月20日就任
監事	安達 正奉	非常勤	
監事	倉澤 景晴	非常勤	平成25年2月20日退任
監事	杉野 繁治	非常勤	平成25年2月20日就任

注1. 現役員の任期は、平成26年度に関する定時総会まで。

3. 職員に関する事項

前期末職員数	増	減	今期末職員数
2名	1名	0名	3名

4. 会議の開催について

1) 総会の開催

定時総会を次のとおり開催した。

年月日：平成25年2月20日

場 所：日本中央競馬会本部ビル7階大会議室

- 議 題： ①平成24年度事業報告及び収支決算について
②平成25年度事業報告及び収支決算について
(平成25年1月1日から1月3日)
③平成25年度会費等の額及び徴収の方法について
④理事の報酬等の額について
⑤役員を選任について

2) 理事会の開催

第1回理事会（定例）

年月日：平成25年2月20日

場 所：日本中央競馬会本部ビル7階第1会議室

- 議 題： ①平成25年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資見込みについて
②平成25年度定時総会付議事項について
③平成25年度業務委託費の配分方法について

第2回理事会（臨時）

年月日：平成25年2月20日

場 所：日本中央競馬会本部ビル7階第1会議室

- 議 題： ①新役員の互選について

第3回理事会（臨時）

年月日：平成25年8月8日

場 所：日本中央競馬会新橋分館8階会議室

- 議 題： ①役員慰労金支給規程の一部改正について
②JRAとの「育成等に関する懇談会」提出議題について

報告事項：業務執行状況と今後の予定について

第4回理事会（定例）

年月日：平成25年12月6日

場 所：日本中央競馬会新橋分館8階会議室

- 議 題： ①平成25年度予算補正について
②平成26年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資見込みについて

3) 書面理事会

第1回書面理事会(平成25年3月7日)

入会の承認について(株式会社UPHILL)

第2回書面理事会(平成25年3月27日)

入会の承認について(クラックステーブル)

第3回書面理事会(平成25年7月5日)

入会の承認について(株式会社愛知ステーブル)

4) 日本中央競馬会との「平成25年度育成等に関する懇談会」の開催

年月日: 平成25年8月9日

場 所: 日本中央競馬会六本木事務所9階 第2会議室

議 題: ①育成技術表彰事業における褒賞金の水準維持

②育成技術者に関する表彰の充実について

③育成調教技術者の確保・養成

④育成牧場の基盤強化対策 ほか

5. 法人検査、監査について

(1) 地方競馬全国協会による監査:

年月日: 平成25年7月11日

場 所: 日本中央競馬会新橋分館8階 会議室

内 容: 平成23・24年度

競走馬生産振興事業

Ⅲ 軽種馬経営高度化指導研修(人材養成支援)

なお、公認会計士から、会計経理に関する助言・指導を受けた(平成26年1月10日)。

以上

平成25年度 育成技術表彰対象者一覧

表彰会員名	代表者名	支部名	表彰件数					
			新馬競走	重賞競走			オープン	計
				GI Jpn I	GII Jpn II	GIII Jpn III		
ノーザンファーム	吉田勝己	北海道	66		1	2	1	70
社台ファーム	吉田照哉	北海道	31			1		32
(株) レッキスホースパーク	吉田俊介	関西	0	1	2	4	3	10
(有) ビッグレッドファーム	岡田美佐子	北海道	7			1		8
(有) 宇治田原優駿ステーブル	八木秀之	関西	2		1	1	3	7
(株) ノースヒルズ	古家道昌	北海道	5			2		7
(有) ヤマダステーブル	山田秀人	北海道	7					7
(有) ファンタストクラブ	吉岡宏仁	北海道	4		1	1		6
追分ファーム	吉田晴哉	北海道	4				1	5
(株) 西山牧場	西山茂行	北海道	5					5
(株) 吉澤ステーブル	吉澤克己	北海道	5					5
(株) グリーンウッドパーク	永山正喜	関西	0		2		2	4
(有) ケイアイファーム	中村祐子	北海道	3		1			4
ノーザンファーム天栄	吉田勝己	東北	1				3	4
(有) グランド牧場	伊藤佳幸	北海道	4					4
(有) コスモビューファーム	岡田義広	北海道	4					4
(有) 日高軽種馬共同育成公社	小竹國昭	北海道	4					4
(有) イクタ	生田敏成	関西	0			1	2	3
(株) 森本ステーブル	森本敏正	北海道	3					3
(有) 武田ステーブル	武田茂男	北海道	3					3
(有) 坂東牧場	坂東正積	北海道	3					3
(有) ミホ分場	藤沢 美咲	関東	0			1	1	2
(農) 串良軽種馬生産育成組合	釘田義広	九州	2					2
(有) 内田ステーブル	内田裕也	北海道	2					2
(有) 加藤ステーブル	加藤信之	北海道	2					2
(有) 高昭牧場	上山泰憲	北海道	2					2
(有) 下河辺牧場	下河辺俊行	北海道	2					2
(有) 大作ステーブル	村田大作	北海道	2					2
(有) 千代田牧場	飯田正剛	北海道	2					2
二風谷軽種馬共同育成センター	稲原稔久	北海道	2					2
(有) 三嶋牧場	三嶋昌春	北海道	2					2
(株) グロースフィールド	原 昌久	関東	0		1			1
(有) 三重ホーストレーニングセンター	伊藤和夫	関西	0				1	1
柏木牧場	柏木 務	九州	1					1
(有) キタジョファーム	北所直人	北海道	1					1
(有) グランデファーム	衣斐 浩	北海道	1					1
(有) グリーンマイルトレーニングセンター	矢野琢也	北海道	1					1
(有) 様似木村牧場	木村薫	北海道	1					1
(有) 日進牧場	谷川利昭	北海道	1					1
(有) ヒダカファーム	近藤聡明	北海道	1					1
(有) フロンティアスタッド	清川孝徳	北海道	1					1
(有) 宮内牧場	宮内 修	北海道	1					1
(有) 目名共同トレーニングセンター	岡田隆寛	北海道	1					1
(有) 谷岡牧場	谷岡康成	北海道	1					1
リパティホースナビゲイト	佐久間拓士	関東	1					1
計	45会員		191	1	9	14	17	232

会員名簿

会員数178(平成26年3月12日現在)

愛知ステーブル
株式会社 アクティファーム
アサヒファーム
有限会社 内田ステーブル
有限会社 浦河育成センター
有限会社 浦河小林牧場
有限会社 浦河中央育成場
株式会社 STウィンファーム
有限会社 大西ステイブル
岩見ステーブル
追分ファーム
株式会社 小国ステーブル
有限会社 荻伏共同育成場
有限会社 カタオカステーブル
有限会社 加藤ステーブル
有限会社 賀張共同育成センター
有限会社 賀張宝寄山育成牧場
有限会社 キタジョファーム
グッドホースクラブ
有限会社 グラストレーニングセンター
クラックステーブル
有限会社 グランデファーム
有限会社 グランド牧場
有限会社 グリーンマイルトレーニングセンター
有限会社 ケイアイファーム
有限会社 競優牧場
有限会社 高昭牧場
有限会社 コスモビューファーム
有限会社 様似木村牧場
様似町軽種馬共同育成センター利用組合

サラブレッドトレーニングサービス
有限会社 下河辺牧場
社台ファーム
株式会社 白井牧場
有限会社 新生ファーム
株式会社 セイクリットファーム
有限会社 大作ステーブル
有限会社 太盛トレーニングセンター
田口トレーニングファーム
有限会社 武田ステーブル
武牧場
有限会社 谷岡牧場
有限会社 谷川牧場
有限会社 チェスナットファーム
有限会社 地興牧場
有限会社 千代田牧場
有限会社 中山牧場
中脇 栄
名古屋ステーブル
錦岡牧場
有限会社 西舎共同育成場
株式会社 西山牧場
有限会社 日進牧場
株式会社 日西ステーブル
二風谷軽種馬共同育成センター
ノーザンファーム
株式会社 ノースヒルズ
有限会社 信岡牧場
有限会社 白馬牧場
有限会社 服部牧場

有限会社 バンダム牧場
有限会社 坂東牧場
ハントバレートレーニングファーム
有限会社 バンブー牧場
有限会社 ビクトリーホースランチ
有限会社 日高軽種馬共同育成公社
有限会社 日高大洋牧場
有限会社 ヒダカファーム
有限会社 ビッグレッドファーム
Pyramid Training
有限会社 ひるかわ育成牧場
有限会社 ファンタスクラブ
有限会社 福山育成牧場
藤春修二
有限会社 へいはた牧場
有限会社 ベーシカル・コーチング・スクール
有限会社 ベルモントファーム
有限会社 豊洋牧場
有限会社 ホースプレイス
本桐共同育成センター
有限会社 三嶋牧場
有限会社 三石軽種馬共同育成センター
有限会社 宮内牧場
合資会社 明治牧場
有限会社 明和牧場
有限会社 目名共同トレーニングセンター
株式会社 森本ステーブル
有限会社 ヤマダステーブル
株式会社 吉澤ステーブル
株式会社 MS遠野

大平 勤
斎藤牧場
佐々木 清一
有限会社 佐藤牧場
佐藤 幹夫
株式会社 諏訪牧場
ノーザファーム天栄
テンコー・トレーニングセンター
扶桑牧場 株式会社
秋本牧場
株式会社 井ノ岡トレーニングセンター
育成牧場ブルーステーブル
牛久トレーニングセンター
有限会社 エンパワメントファーム
株式会社 オークヒルファーム
有限会社 オークリーフ
有限会社 小野瀬ファーム
大瀧啓之
有限会社 貴悦牧場
株式会社 グロースフィールド
栗山牧場
KSTトレーニングセンター
農事組合法人 サーストン組合
サカキバラステーブル
有限会社 サラブレッドトレーニングアイランド
有限会社 下河辺トレーニングセンター
シンボリ牧場 有限会社
有限会社 菅井牧場
有限会社 スピリットファーム
株式会社 大東牧場

有限会社 高木競走馬育成牧場

株式会社 島上牧場

有限会社 出羽牧場
ナクラファーム
有限会社 那須トレーニングファーム
有限会社 鍋掛牧場
株式会社 ナリタファーム
有限会社 ニノ宮マネジメント
有限会社 ハヤト走馬舎
有限会社 プリンス・コラル
株式会社 ニューオリンピッククラブ
松風馬事センター
有限会社 ミホ分場
ユタカファーム
株式会社リバティホースナヴィゲイト
株式会社リワード
株式会社アカデミー
浅井牧場
株式会社朝宮ステーブル
株式会社UPHILL
有限会社 イクタ
WESTステーブル八日市
有限会社 宇治田原優駿ステーブル
オクニシステーブル
株式会社 グリーンウッドパーク
グリーンファーム 株式会社
京北育成牧場 高宮ライディングパーク
甲賀ファーム
株式会社 湖南牧場
株式会社 小松トレーニングセンター
信楽牧場 株式会社

辰美牧場
ヒルサイドステーブル 株式会社
有限会社 三重ホーストレーニングセンター
有限会社 三田馬事公苑
ムロタホーストレーニング
有限会社 山岡トレセン
八日市インター牧場
有限会社 栗東ホース倶楽部
株式会社 レッキスホースパーク
有限会社 ワコーファーム
農事組合法人 始良農事組合
柏木牧場
農事組合法人 串良軽種馬生産育成組合
株式会社 クラウン
SUNDANCE EE
土屋牧場
新保牧場
長谷川牧場
東 廣美
廣松 一義
廣松 金次
廣松 金義
廣松 重信
宮崎ステーブル 有限会社
有限会社 山下牧場
和田競走馬トレーニングセンター